

商品名 アルファカルシドールカプセル0.5μg「BMD」 医薬品基本情報

薬効	3112 合成ビタミンD製剤	一般名	アルファカルシドール0.5μgカプセル
英名	Alfacalcidol	剤型	カプセル
薬価	6.10	規格	0.5μg 1カプセル
メーカー	バイオメディクス	毒劇区分	(劇)

アルファカルシドールカプセル0.5μg「BMD」の効能・効果

(ビタミンD抵抗性クル病、副甲状腺機能低下症、慢性腎不全、ビタミンD抵抗性骨軟化症)の(骨痛、骨病変、テタニー、低カルシウム血症、ビタミンD代謝異常)の改善、骨粗鬆症

アルファカルシドールカプセル0.5μg「BMD」の使用制限等

1. 高リン血症

記載場所	使用上の注意
注意レベル	注意

アルファカルシドールカプセル0.5μg「BMD」の副作用等

1. 血清カルシウム上昇、急性腎障害、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、肝機能障害、黄疸
2. 食欲不振、悪心、嘔気、下痢、便秘、胃痛、AST上昇、ALT上昇、BUN上昇、クレアチニン上昇、腎機能低下、皮膚そう痒感、結膜充血
3. 嘔吐、腹部膨満感、胃部不快感、消化不良、口内異和感、口渇、頭痛、頭重、不眠、いらいら感、脱力感、倦怠感、めまい、しびれ感、眠気、記憶力減退、記銘力減退、耳鳴り、老人性難聴、背部痛、肩こり、下肢つっぱり感、胸痛、血圧上昇、動悸、LDH上昇、γ-GTP上昇、腎結石、発疹、皮膚熱感、関節周囲の石灰化、化骨形成、嚔声、浮腫
4. 血清カルシウム上昇、急性腎障害
5. 高カルシウム血症、胎仔化骨遅延

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明
記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満
記載場所	その他の副作用
頻度	0.1%未満
記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明
記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

6. 急性毒性

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

アルファカルシドールカプセル0.5μg「BMD」の相互作用

1. 薬剤名等：マグネシウムを含有する製剤

発現事象	高マグネシウム血症	投与条件	-
理由・原因	腸管でのマグネシウムの吸収を促進	指示	注意

2. 薬剤名等：マグネシウムを含有する製剤

発現事象	アルカローシス、高カルシウム血症、高窒素血症、ミルク・アルカリ症候群	投与条件	-
理由・原因	血中マグネシウムの増加により代謝性アルカローシスが持続するため、尿細管でのカルシウム再吸収が増加	指示	注意

3. 薬剤名等：ジギタリス製剤

発現事象	不整脈	投与条件	-
理由・原因	本剤により高カルシウム血症が発症した場合、ジギタリス製剤の作用が増強	指示	注意

4. 薬剤名等：カルシウム製剤

発現事象	高カルシウム血症	投与条件	-
理由・原因	本剤は腸管でのカルシウムの吸収を促進	指示	注意

5. 薬剤名等：ビタミンD

発現事象	高カルシウム血症	投与条件	-
理由・原因	相加作用	指示	注意

6. 薬剤名等：ビタミンD誘導体

発現事象	高カルシウム血症	投与条件	-
理由・原因	相加作用	指示	注意

7. 薬剤名等：PTH製剤

発現事象	高カルシウム血症	投与条件	-
理由・原因	相加作用	指示	注意

8. 薬剤名等：PTHrP製剤

発現事象 高カルシウム血症

投与条件 -

理由・原因 相加作用

指示 注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.